

保存版

「甲府市洪水ハザードマップ」と一緒に活用
しましょう！

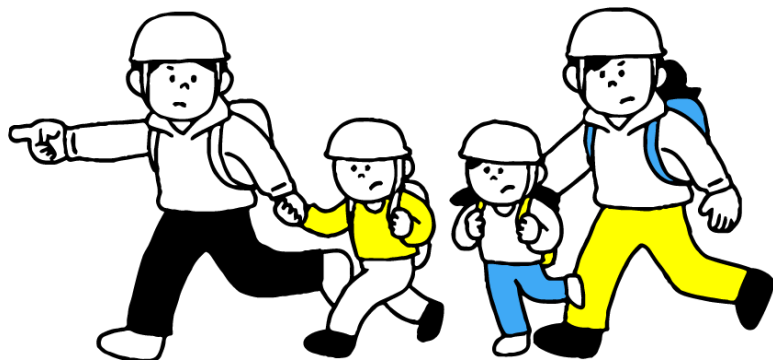


洪水災害に備えて

相生地区 水害避難ガイド

相生地区における水害の危険性や、いざというときの避難について改めて知っていただくための「水害避難の地区研修会」を、令和4年9月25日（日）に自治会長、防災リーダー、消防団などの皆様を対象に市役所南庁舎（旧相生小学校）で開催しました。

研修の内容をこのガイドにまとめましたので、いざというときに命を守るため、各ご家庭での備えや、地域で助け合って避難するための取組につなげてください。



**自分の命、大切な人の命を守るため、
日頃から水害への備えをお願いします！**

【研修の内容】

- ① 「甲府市洪水ハザードマップ」で、自宅の状況をチェック！
- ② 避難をするための情報をチェック！
- ③ 避難先を考えよう！
- ④ 「マイ・タイムライン」をつくろう！
- ⑤ 地域の避難計画を作成しよう！

【付録】 相生地区「地域の水害避難マップ」



① 『甲府市洪水ハザードマップ』で自宅の状況をチェック！

最近では、地球温暖化の影響とも言われる過去に例のない大雨や集中豪雨が発生し、全国では、大災害が毎年のように発生しており、多くの河川が流れる甲府でも、いつ災害が発生しないとも限りません。

いざというときに、適切な避難行動をとるためには、まず、お住まいの地域にどのような危険性があるのか知っておかなければなりません。

新たにお配りした甲府市洪水ハザードマップ(令和4年4月版)と、このガイドの付録<地域の洪水避難マップ>で、自宅周辺で想定される浸水の深さなどの危険性を、必ず確認してください。



② 避難するための情報をチェック！

避難をするためには、大雨や洪水に関する情報を知り、どのタイミングで避難が必要なのかを知らなければなりません。

下の表の<5段階の警戒レベル>は、大雨による洪水や土砂災害などの危険性に関する防災情報と、その際に取りべき行動を直感的に結び付けることができるよう、レベルごとに共通の色を付けたものです。気象情報なども、警戒レベルに応じた色とともに発表、表示されます。

<警戒レベル3(赤色)で早めの避難、警戒レベル4(紫色)で必ず避難>と覚えてください。

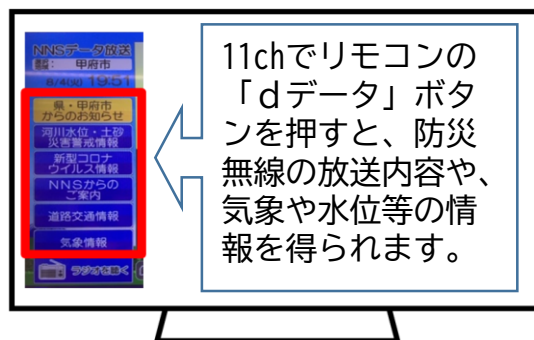
防災情報のポイント 避難情報・気象情報などの防災情報を、5段階の警戒レベルを用いて伝えることとしました。レベル1・2は気象庁が発表し、レベル3からの避難情報は市が発令します。

警戒レベル	防災情報	状況	避難行動など
5	緊急安全確保	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！
~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2	洪水注意報・大雨注意報等	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する
1	早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める

情報を収集して、早めの避難を心がけましょう！

警戒レベル3以上の避難情報は、防災行政用無線(防災こうふ)でサイレンを鳴らしてお知らせします。また、テレビ・インターネット・防災アプリなども活用して、自ら情報収集しましょう。

甲府CATV(NNS)11chデータ放送



各種防災情報を「甲府市防災アプリ」から確認できます。  
ダウンロードはこちら↓



**赤で早めの避難！紫で必ず避難！！**  
防災情報の詳細は「甲府市洪水ハザードマップ」の5～8ページをご覧ください！

こうふPR大使 武田 ハルクン



### ③ 避難先を考えよう！

避難先は最寄りの避難所に避難することだけでなく、右の図のように、親せきや知人宅、自宅の2階、高い建物などに避難する「分散避難」が考えられます。

また、避難指示等の対象ではない安全な地域の避難所への避難も可能です。

※2階への避難は最大浸水深が概ね3m未満の場合に可能ですが、水が引くまでの間の生活ができる場合に限りです。  
 ※避難指示等の区域外の避難所は、台風や大雨の状況に応じて開設します。



### ④ 「マイ・タイムライン」をつくろう！

ご自宅の危険性や避難先、防災情報について確認したら、“いつ”、“どのような避難行動をするか”をあらかじめ整理する「わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)」を作成しましょう。大雨や台風接近の際は、マイ・タイムラインを目安に、ご家庭での早めの避難につなげてください。

わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	インターネット、スマートフォンなどで、避難に備えましょう。	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
避難行動	②避難情報や気象情報などから、避難のタイミングを考えましょう。	④警戒レベルに応じて、避難開始までに必要な行動を書きましょう。	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
避難準備	①避難先・避難方法・かかる時間を書きましょう。	③避難開始のタイミングを書きましょう。	⑤避難準備の際に確認したことをチェックしましょう。		

わたしの避難先  
 ○○小学校  
 避難の方法  
 徒歩  
 避難先までかかる時間  
 15分

わたしの行動  
 ・テレビなどで台風の進路を確認  
 ・家族の予定を確認  
 ・庭の点検、片付けをする  
 ・ハザードマップを確認  
 ・気象情報、河川の水位情報を確認  
 ・避難経路、非常持出品、備蓄品の確認  
 ・携帯電話の充電  
 ・防災アプリで避難情報や避難所開設状況を確認  
 ・河川水位情報を再確認  
 ・家族などへ連絡  
 ・避難先へ行く準備  
 ○避難開始  
 ・隣近所に呼び掛けをして避難する

◀左記の例を見ながら、次ページの「マイ・タイムライン」に書き込んでみてください

家族で話し合おう！



### ⑤ 地域の避難計画を作成しよう！

各家庭での取り組みに加え、自治会等でも避難計画を作成しましょう。消防団などと連携した避難の呼び掛けや支援、連絡網による避難状況の確認などができるように、日頃から地域で取り組むことがとても重要です。実際に、災害が発生した地域で、「消防団やご近所の方などによる避難の呼び掛けが、避難のきっかけになった」という事例が報告されています。

いざというときに逃げ遅れることがないように、自治会等で、水害の避難計画や避難のための名簿、連絡網などを作成する際は、地域の皆さまのご協力をお願いします。

研修会では感染症対策を踏まえた避難者の受付訓練や避難スペースの区割り訓練などを行いました。

#### 避難所運営などにおける協力体制



スムーズな避難所運営や復旧活動には、自治会や住民の皆様と、日常的に活動を行う各種団体や消防団などが協力し合うことが重要です。

また、これまでの災害対応では女性の視点に立った避難所運営が課題となっていました。女性防災リーダーや各種団体からの女性の参画が様々な人への配慮につながります。



# わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)

警戒レベル		1	2	3	4	5
避難情報	市民に行動を促す情報 ※警戒レベル3から 市が発令します					
	避難情報	早期注意情報	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 氾濫注意水位 強風注意報	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 避難判断水位 暴風警報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 氾濫危険水位	大雨特別警報 氾濫発生情報 氾濫の発生 暴風特別警報
必要な行動	必要な行動	・気象情報、避難情報を確認する ・避難経路の確認、非常持ち出し品の確認などの避難準備		高齢者などの避難に時間がかかる方は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！

### わたしの避難先

避難の方法

避難先までかかる時間

### わたしの行動

避難の準備

避難先・避難経路の確認       必要な物の買い出し

火の元・戸締り・ブレーカー       避難先を家族や親せきへ連絡

非常用持ち出し品・備蓄品の確認

食料・飲料水       保険証       現金

携帯電話       常備薬       雨具・着替え



※マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安です。避難情報や気象情報をこまめに確認し、状況に合わせて臨機応変に行動してください。

## 洪水災害に備えて

## 相生地区 水害避難ガイド

(令和4年9月配布)

(発行) 甲府市役所 危機管理室 地域防災課

電話：055-237-5357

FAX：055-237-9911